

---

# 第63回富山県デザイン展 学生建築デザインコンペ 応募要項

公募したデザイン作品を審査し一堂に展示する事で優れたデザインへの理解を深め、広く社会の豊かな生活文化の形成に寄与する。

---

## 募集内容

### テーマ「工場が夢みる未来」

もと工場であったシンプルな構成の建築をリノベーションする。何に使うかは自由。この建物はコンペのテーマ提供者である塩谷建設所有であり、広く魅力的なアイデアを求めます。塩谷建設内でも、脱炭素を意識してリユース系のショップ(家具や建材など)やバイクなどのミニ世田谷ベースの集合体、シェアアトリエ、複合にして入居者のシナジーが出るような共有スペースを配置するなど様々なプランが上がっていますが、コンペ応募案が優秀であれば、そのアイデアを採用し具現化する可能性があります。特に今回は、塩谷建設が来年度に70周年を迎えるにあたり記念事業として隣地のリノベを計画しているので、審査で選ばれればあなたのアイデアが実現する確率は例年以上。また、富山県デザイン展会期終了後にも、応募全作品が改めて塩谷建設ギャラリーにて展示される予定です。

---

## 招待審査員 (敬称略・50音順)

### 岡崎 智弘 (おかざき ともひろ) グラフィックデザイナー / デザイナー / SWIMMING 代表

1981年神奈川県出身。2003年東京造形大学デザイン学科卒業。アイルクリエイティブ勤務を経て、2011年デザインスタジオ SWIMMING を設立。グラフィックデザインを軸に、印刷物 / 映像 / 展覧会など視覚伝達を中心とした領域にて、デザインの仕事に取り組んでいる。代表作として「Eテレ デザインあ 解散!」の企画制作、「虫展ーデザインのお手本ー(21\_21 DESIGN SIGHT)」「デザインあ展」展示構成、「HOMME PLISSÉ ISSEY MIYAKE インビテーションムビー」「紙工視点」のグラフィックデザイン等、柔軟に活動を続ける。著書『デザインあ 解散!の解』『デザインあ 解散!の散』(ポプラ社)。多摩美術大学情報デザイン学科非常勤講師。TDC賞、JAGDA賞、第25回亀倉雄策賞受賞。http://swimmingdesign.com

---

### 萬代 基介 (まんだい もとすけ) 建築家 / 萬代基介建築設計事務所代表

1980年神奈川県出身。2005年東京大学大学院建築学専攻修了。2005~11年石上純也建築設計事務所勤務。2012年萬代基介建築設計事務所設立。受賞歴 / 23年建築コンクール最優秀賞(椎葉邸)、グッドデザイン賞 BEST100賞(椎葉邸)Taipei Design Award Silver Award(石山公園の屋根)、14年DSA空間デザイン大賞、JCD デザインアワード金賞など。建築の設計をはじめ、インテリア、展覧会の会場構成、インスタレーション、まちづくり、ランドスケープなどスケールを横断する活動を行なっている。受賞歴 / 2023年建築コンクール最優秀賞(椎葉邸)、グッドデザイン賞 BEST100賞(椎葉邸)Taipei Design Award Silver Award(石山公園の屋根)、2014年DSA空間デザイン大賞、JCD デザインアワード金賞など。

---

### 渡邊 康太郎 (わたなべ こうたろう) コンテキストデザイナー / 慶應義塾大学 SFC 特別招聘教授

1985年東京都出身。使い手が作り手に、消費者が表現者に変化することを促す「コンテキストデザイン」を提唱。サービス企画立案、企業ブランディング、大学や企業向けの教育プログラムなど幅広いプロジェクトを牽引。主な仕事に ISSEYMIYAKE の花と手紙のギフト「FLORIOGRAPHY」シリーズ、一冊だけの本屋「森岡書店」の立ち上げ、日本経済新聞社のブランディングなど。J-WAVE のブランディングプロジェクトでは、新ステートメントの言語化とロゴデザインを行い、2020年度グッドデザイン賞を受賞。ほか、国内外での受賞や講演多数。独 iF Design Award、日本空間デザイン賞などの審査員を務める。著書『コンテキストデザイン』は青山ブックセンター 2022年総合ランキング1位を記録。趣味は茶道、茶名は仙康宗達。三徳庵茶道正教授。

---

敷地 所在地：富山県高岡市石瀬6-1 その他

- ・塩谷建設本社敷地隣接の土地。それらは単一の敷地と考えてください。(現在、この敷地内には塩谷建設以外の施設、放課後児童クラブ、重症児デイサービス、在宅医療サービスなどが既に入っており、地域に開いた場として運営が始まっている。)
- ・そのほかリノベ予定の建物は3つあり、今回の建物はそのうちの一つ。ですので、敷地全体を見通す視線も必要です。
- ・自分の設計上の敷地を、どの部分を切り出すのか、または全体にするのかも自由です。(配置図、平面図、現地写真など添付。)
- ・google map で読み取れる情報を共有し、設計することとします。以下参考。  
【法的規制】用途地域：商業地域。建ぺい率 80%、容積率 400%。  
その他、風致地区、地区計画など指定なし。
- ・また、今回は現地視察会あり。ぜひ参加下さい。

---

建物

- ・鉄骨造平屋建て。家型の断面をした、一般的な工場建築です。
- ・内部の情報は写真参照。
- ・既存構造体を利用して、自由にデザインしてください。
- ・小規模な増築や減築も可とします。(最高高さ H=5200、軒の高さ H=4000。)
- ・外部も写真参照。立地条件が良く、ヒラキストア(スーパーマーケット)、カーマなど近接、日常生活の買い出しや、制作材料などが近くで買える。

---

現地視察会 今回は、塩谷建設敷地内ということもあり、現地視察会をおこないます。(※予約不要)

日時 9月12日(火)13:30

集合 塩谷建設本社前 高岡市石瀬6-1

---

登録締切 **令和5年10月20日(金)**

---

応募資格 富山県内の高等学校に在学する生徒。  
富山県および近隣各県(石川、福井、新潟、長野)の高専4~5年、専門学校、大学・大学院に在学する学生。

---

応募方法 本会HPにアップされている出品申込書(xls)に必要事項を入力し、協会事務局へメール送信して下さい。折り返し登録ナンバーを入れて返信いたします。作品には、この登録ナンバーの入った出品票を貼り付けて下さい。申込用紙は、1作品(シリーズ)につき1枚作成のこと。  
メール送信できない場合は、FAXまたは郵送でお申し込みください。  
【送付先】(公社)富山県デザイン協会 メール:info@toyama-da.jp  
〒939-1119 富山県高岡市オフィスパーク5番地  
TEL:0766-63-7140 FAX:0766-63-7141

---

出品数 一人2作品以内

---

出品登録料 2,000円  
ただし、高校生及び本会学生賛助会員は無料。  
【振込締切】10月31日(火)  
【郵便振替口座】公益社団法人富山県デザイン協会 シャ)トヤマケンデザインキョウカイ  
口座記号番号：00750-1-17140

---

作品の搬入

## 令和5年11月7日(火) 富山県高岡文化ホール

展示会場である富山県高岡文化ホール(高岡市中川園町13-1)へ直接搬入してください。

宅配便等で搬送の場合、本会事務所へ10月31日(火)必着。送料は出品者負担。

【送付先】公益社団法人富山県デザイン協会

〒939-1119 富山県高岡市オフィスパーク5

公開審査

## 令和5年11月8日(水)13:00~15:00

このコンペでは審査を公開します。審査員3人がどのような視点から審査するかをその背後から見聞することができます。審査中は審査員への接触は厳禁ですが、結果が出た後には審査員から直接、自分の作品の講評を聞くことができます。有名建築家に直接意見を聞くことができる貴重な機会だと思います。

展示

原則として、全作品を展示します。

富山県高岡文化ホールでの会期終了後は塩谷建設社内でも展示し、返却は同社から行われます。

賞

最優秀賞 1点・・・賞状、副賞5万円

優秀賞 1点・・・賞状、副賞3万円

奨励賞 2点・・・賞状、副賞1万円

塩谷賞(U-18) 1点・・・賞状、副賞1万円

お問い合わせ

公益社団法人 富山県デザイン協会

〒939-1119 高岡市オフィスパーク 5 番地

TEL 0766-63-7140 FAX 0766-63-7141 info@toyama-da.jp

### 招待審査員による「スペシャル・フリートーク」 聴講無料

招待審査員が自身の経歴、作品等について語ります。

日時：11月7日(火)17:30~19:00

会場：ウイング・ウイング高岡5階 501 研修室(高岡市末広町1-8 TEL:0766-22-0044)

## 第63回富山県デザイン展

令和5年11月10日(金)~12日(日) 9:00~17:00 初日は10:00から 最終日は14:00まで

富山県高岡文化ホール 高岡市中川園町13-1 TEL 0766-25-4141

開会式：令和5年11月10日(金)10:00 富山県高岡文化ホール1階 エントランスホール

表彰式：令和5年11月12日(日)14:00 富山県高岡文化ホール1階 ホワイエ

主催：公益社団法人 富山県デザイン協会 〒939-1119 富山県高岡市オフィスパーク5 TEL:0766-63-7140

共催：富山県、富山市、高岡市、富山・ミラノデザイン交流倶楽部

後援：北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、日本経済新聞社富山支局、日刊工業新聞社、朝日新聞富山総局、毎日新聞富山支局、中日新聞富山支局、NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、富山エフエム放送、ラジオたかおか、シー・エー・ピー